

エコアイランド 佐渡を 世界に発信



コップテン
～COP10に参加しました～



サイドイベントで発表する高野市長

COP10

「COP10 (Conference of the Parties)」とは、国際条約の締約国が集まって開催する会議のことです。

今回開催された「生物多様性条約第10回締約国会議」は、生物多様性条約を締結した国々によって2年に一度開かれる会議の10回目であることから、「COP10」といわれます。今回の会議は、多くの人たちにわかりやすいように「国連地球生きもの会議」とも呼

10月18日～29日、「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」が、愛知県名古屋市中で開催されました。世界各国の政府代表者などが集まり、多様な生きものや、生きものが暮らす環境を守るために、様々な議論が交わされました。

佐渡市では、トキの野生復帰を取り巻く状況や、人とトキが共生する島づくりなどについて、COP10のサイドイベントや国際自治体会議で発表し、世界に向けて佐渡市の取組みをPRしました。

ばれています。

このCOP10は、日本で開催される今世紀最大の国際会議といわれ、世界中から179の締約国、関連国際機関、NGO（非政府組織）など1万3000人以上が参加しました。

名古屋議定書と愛知目標が採択されて閉幕

COP10は、「名古屋議定書」と「愛知目標」を採択し、10月29日に閉幕しました。

名古屋議定書は、薬の開発などに必要な生物から得られる遺伝資源の利用から生じる利益を原産国と利用国が公平に配分するための国際的なルールです。

愛知目標は生態系を守る新たな国際目標で、2020年までに具体的な緊急行動を起こすことを掲げています。

また、里山に注目して生物多様性の持続的な利用を図る「SATOYAMAアイニシアティブ」が世界に提案され、生物多様性条約の関連活動に盛り込まれました。

生物多様性って？



地球上には、人間だけではなく、さまざまな生きものが暮らしています。その数は約175万種、未知のものも含めると3000万種ともいわれています。

すべての生きものが、それぞれの環境に応じてお互いにかかわり合いながらうまく循環し、自然界のバランスをとって生きていることを「生物多様性」といいます。

しかし、開発や乱獲、外来種の持ち込みなど、人間の活動が大きな原因となり、生物多様性のバランスが崩れてきています。

そこで、世界の国々がお互いに協力し、地球全体で生物を守っていくと、1992年に「生物多様性条約」が採択されました。現在、約193の国と地域がこの条約を結んでいます。日本も1993年にこの条約に参加しました。

